

単元名：ポートボール【第3学年】

関連：
助言集
p.18

関連：
指導案
p.10



運動の特性

パスをして相手をかわしてボールを運び、ゴールマンにシュートをして相手チームと得点を競い合うのが楽しいゲームである。



ルールの設定

試合人数

- ・6人対6人
(各チームからゴールマン、ガードマン一人ずつ出す。)

試合時間

- ・前半3分×後半3分（ハーフタイム1分）

ルールの工夫

- ・キャプテンがじゃんけんをして勝った方がボールを持ち、センターラインからゲームをスタートする。
- ・ドリブルはなし。（4年ではあり。）
- ・ボールがコートから出たら相手ボールになり、出たところから始まる。そこから直接ゴールマンにパスをしてはいけない。
- ・シュートが決まったら（ボールをゴールマンに渡したら）5点。2回目からは1点。一回目が決まったら帽子を赤にする。
- ・得点が決まったら、ガードマンから始める。

【反則】・抱きつく ・たたく ・押す

場の工夫

コートの広さ

- ・15m×10m （児童の実態に合わせて少し広めに取ってもよい。）

ゴールの位置

- ・ゴールマンとガードマンのいる位置を二重の円状にし、エンドラインから少し離れた場所に設定した。
(裏のスペースがあることで、動きや作戦に幅を広げるため。)

用具の工夫

ボールの大きさ

- ・ソフトドッジボール2号
(児童が普段から慣れ親しんでいるボールを使うことで、ボールへの怖さを少しでも緩和する。)



実技研 『ドリブル運び鬼』

「ポートボール」「バスケットボール」の特性

- 【攻撃】「ボール運び」「相手をかわす」「シュートする」
 - 【守備】「運ばせない」「かわさせない」「シュートさせない」
- これらの中の「ボール運び・運ばせない」に特化したゲーム。

【攻撃】・全員ボールを持つ。

- ・ドリブルしながら守備をかわし、コートの向こう側へボールを運べたら1点。
- ・タッチされた人はラインから出て最初の位置からスタート。

- 【守備】
- ・ライン上に立ち、ライン内で横に動くことができる。
 - ・ドリブルしてくる攻撃をタッチしてアウトにする。
 - ・タッチはラインからはみださずに前や横タッチできる。
 - ・後ろを振り返ってのタッチはなし。

